

大胆に・着実に、改革の流れをさらに前進

平成26年度 施政方針と予算の概要

平成26年度茂原市議会第1回定例会が2月19日から3月13日まで、23日間の会期で開催されました。総額479億5725万円の平成26年度予算案等24議案が可決されました。今月号では、議会の冒頭に市長が述べた施政方針と新年度予算の概要についてお知らせします。



▲施政方針演説をする田中市長

はじめに

一昨年4月に多くの市民の皆様方のご信任をいただき、2期目の市政運営を担わせていただき、2年が過ぎようとしています。

この間、学校施設の耐震化、大手企業の誘致、土地開発公社の解散など、さまざまな施策を「大胆に・着実に」展開することができました。これもひとえに皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今後とも、この改革の流れ

をさらに前進させる所存です。

さて、国においては、経済見通しについて、消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動減には留意が必要であるものの、各種経済対策の推進等により、内需に支えられた景気回復が見込まれ、「日本再興戦略」の実行の加速・強化、「好循環実現のための経済対策」の実行などにより、経済の好循環を実現していくとしており、私としても注視してまいりたいと考えています。

平成26年度当初予算案についてですが、歳入については、市税収入の増が見込めるものの、地方交付税の減により、大幅には増えないものと見込んでいます。

歳出については、義務的

経費の増や耐震化等へ対応する必要があり、水害対策の対応を図ってまいります。

さらに、県が取りまとめる予定している「一宮川浸水対策検討の場」の検証結果を踏まえた上で、市が対応できる有効な対策を精査し、早急に予算化したいと考えています。

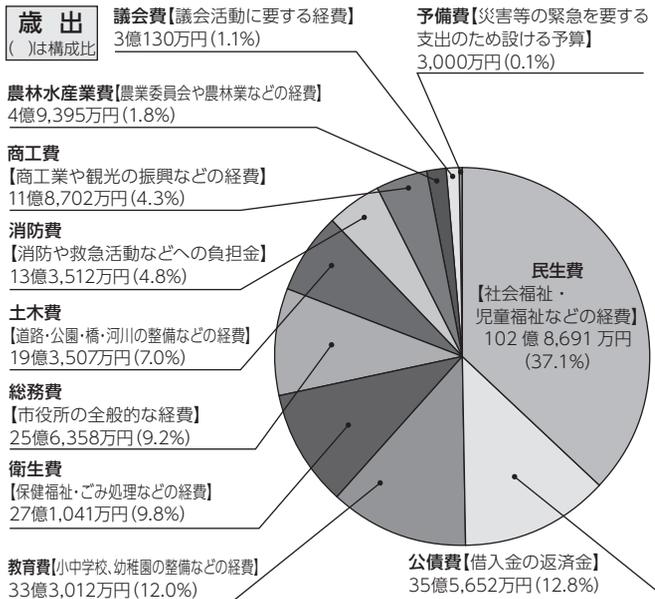
引き続き厳しい財政運営を強いられ、最少の経費で最大の効果を上げるといふ基本理念に基づき、投資効果や緊急性を十分勘案し、限られた財源の効率的な配分に努めることとし、「選択と集中」を基本として、「第5次3か年実施計画」および「行財政改革大綱第6次実施計画」との整合を図りながら、計画の着実な推進を図るべく、予算編成を行いました。

歳出については、義務的

平成26年度 当初予算概要

一般会計

277億3,000万円(対前年伸び率5.2%)



特別会計

202億2,725万円(対前年伸び率4.7%)

	金額	対前年伸び率
国民健康保険事業費	110億9,039万円	2.5%
下水道事業費	16億1,123万円	12.8%
農業集落排水事業費	4億9万円	14.7%
駐車場事業費	9,221万円	1.5%
介護保険事業費	61億1,787万円	5.6%
後期高齢者医療事業費	9億1,546万円	8.9%
計	202億2,725万円	4.7%

